

弘前大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

本院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない患者さんもしくは患者さんの代理人の方は、下記の連絡先までお申し出ください。

1. 研究課題名	慢性中耳炎に対するsubannular tube insertion(経外耳道鼓室換気チューブ挿入術)の効果			
2. 対象患者	2013年3月1日から2018年9月30日に経外耳道鼓室換気チューブ挿入術を行った癒着性中耳炎、滲出性中耳炎等の慢性中耳炎の患者様			
3. 対象となる期間	2013年 3月 1日 ~ 2018年 9月 30日			
4. 実施診療科等	耳鼻咽喉科			
5. 研究責任者	氏名	佐々木亮	所属	耳鼻咽喉科学講座
6. 共同研究機関 (共同研究機関研究責任者)	なし			
7. 研究の意義	癒着性中耳炎、滲出性中耳炎等の慢性中耳炎に対してはしばしば鼓膜チューブ挿入術が必要となります。しかし鼓膜チューブの挿入により鼓膜に穴が残ったり凹んでしまうなどの合併症が生じることがあります。このような合併症を防ぐための手段として経外耳道鼓室換気チューブ挿入術という方法を用いている先行研究があります。この方法は鼓膜に穴を開けずに外耳道(耳の穴)からチューブを入れるため、先に述べた合併症を防ぐことができ、長期的な予後を改善させることができる可能性があると思われれます。			
8. 研究の目的	癒着性中耳炎、滲出性中耳炎等の経外耳道鼓室換気チューブ挿入術の臨床効果を見ることを目的としています。			
9. 研究の方法 (使用・提供する資料等および外部に提供する場合の方法等)	2013年3月1日から2018年9月30日の期間に当科にて経外耳道鼓室換気チューブ挿入術を施行した慢性中耳炎の患者様の診療記録を振り返り、手術方法、病気の期間、チューブが入っていた期間、手術前後の鼓膜の状態、聴力検査所見などを検討します。 外部への資料提供はありません。			
10. 個人情報の保護	本研究の実施に係る診療記録は研究対象者識別番号を用いて個人情報(氏名・住所など)を含まない形で調査を行います。 対象者の方より拒否の申し出が合った場合は、研究対象から除外しデータを削除致します。ただし既に匿名化のうえ解析済みの場合や、研究成果公表済みの場合はデータを修正することはできませんのでご了承ください。			
11. 利益相反に関する状況	本課題の研究代表者および共同研究者は資金や便宜の提供は受けていませんので利害の衝突は起こりません。なお、この研究の利害関係については、弘前大学臨床研究利益相反マネジメント委員会へ届出ております。			
12. 連絡先	弘前大学大学院医学研究科 耳鼻咽喉科学講座 佐々木亮			
	電話	0172-39-5099	FAX	0172-39-5100